

# 10月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども  
・豊かに感じる子ども  
・考え工夫する子ども

R6. 9. 30 文京区立本駒込幼稚園



## 「やってみよう！」の気持ちを大切に ～開園50周年記念運動会に向けて～

主任 高島 寛子

暑さが和らぎ、幼稚園を吹き抜ける風が気持ち良く感じられます。園庭に立ち、ふと空を見上げるとトンボが飛んでおり、そのトンボが、年長児の育てている青々と生い茂ったサツマイモの葉の上を旋回する光景を見て、秋の訪れを感じました。

幼稚園では運動会に向けての取り組みが始まっています。

ちゅうりっぷ組は、担任と一緒に動く安心感を基に、一人一人の「やってみよう！」を大切に取り組んでいます。取り組みの一環で、担任が「魚になってみよう！」と投げ掛けました。すると広い園庭でサメになる子、人魚になる子、滑り台を岩場に見立てて隠れているウツボになる子など、自由に動き回る子どもたちを、担任は「いいね！」「面白いね！」と、丁寧に受け止めていました。受け止められると嬉しそうに「もっとやる！」と言う子どもたち。これを日々大切にすることで「またやってみよう！」という気持ちを運動会につなげています。

さくら組は、すみれ組への憧れを感じます。ある日、かけっこの取り組みで、ある幼児が、「すみれさんは、こうやって走るんだよ！」と、腕を大きく振って園庭を走り抜ける姿がありました。担任が「かっこいいね！」と声を掛けると、「ぼくもできる！」「わたしもできる！」と、一人一人がやる気に溢れ、繰り返しかけっこを楽しんでいました。担任は、子どもたちが年長組や友達の様子を見て、自分も「やってみよう！」という気持ちを大事にしています。そのために、幼児がやりたいと思ったときにすぐ取り組めるように手作りバトンやお面など幼児の実態に合わせた環境を用意し、子どもたちが主体的に運動会に取り組んでいけるようしています。

すみれ組は、子どもたちの「リレーやろう！」の言葉で、遊びの中でリレーを楽しんでいる姿があります。バトンや三角コーンを用意する、スタート位置やチーム編成、順番を決めるなど、全て自分たちで考え、準備しています。先日、バトンを上手くつなげず、落としてしまう場面がありました。ここでは担任はあえて何も言わず、様子を見ていました。すると、ある幼児が、「次だ、次！次ががんばろう！」と言いました。それを聞いた周りの友達が「そうだね」「またやろう！」と応えました。その様子を見て担任は「もう一回やってみようっていい考えだね。」と声を掛けました。幼児自身の気付きを大切にすることで「またやってみよう！」そしてさらに、「友達と一緒にやりたい」「上手いかななくても挑戦したい」「自分ならできる」という気持ちを育みながら、運動会の取り組みに生かしていけるようになっています。

今回の運動会は本駒込幼稚園開園50周年を記念した『開園50周年記念運動会』です。園全体で記念運動会を盛り上げようとして取り組んでおります。すみれ組は、運動会では係活動も行います。「やってみよう！」の気持ちがいっぱいの園児と教職員です。当日をどうぞ楽しみにして下さい。